

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 20 日 (2023.6.20)

【公開番号】特開 2021-6403 (P2021-6403A)

【公開日】令和 3 年 1 月 21 日 (2021.1.21)

【年通号数】公開・登録公報 2021-003

【出願番号】特願 2020-108255 (P2020-108255)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/392 (2006.01)

B 4 1 M 5/388 (2006.01)

B 4 1 M 5/385 (2006.01)

10

【F I】

B 4 1 M 5/392 4 0 0

B 4 1 M 5/388

B 4 1 M 5/385 4 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 7 日 (2023.6.7)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

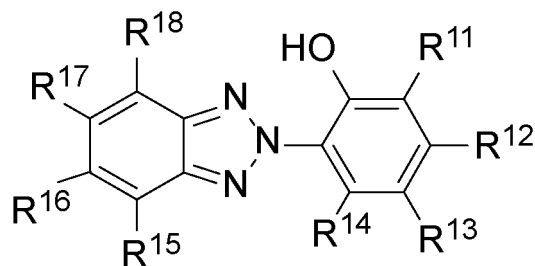
【請求項 1】

基材と、該基材の上に形成された色材層とを有し、

該色材層には、下記式 (1) で表される化合物と、下記式 (2) で表される化合物、下記式 (3) で表される化合物及び下記式 (4) で表される化合物からなる群から選択されるいずれか 1 の化合物とが含有される、  
ことを特徴とする感熱転写記録用シート。

30

【化 1】



式(1)

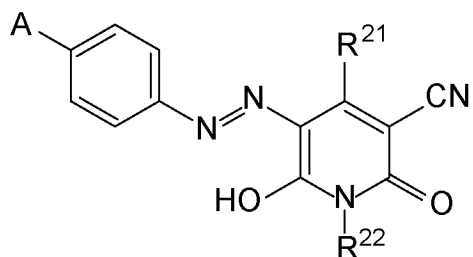
40

[ 式 (1) 中、

R<sup>11</sup> 及び R<sup>13</sup> は、それぞれ独立して、水素原子、アルキル基、アラルキル基、無置換のアリール基または置換基を有するアリール基を表し、

R<sup>12</sup>、R<sup>14</sup> ~ R<sup>18</sup> は、それぞれ独立して、水素原子またはアルキル基を表す。]

## 【化 2】



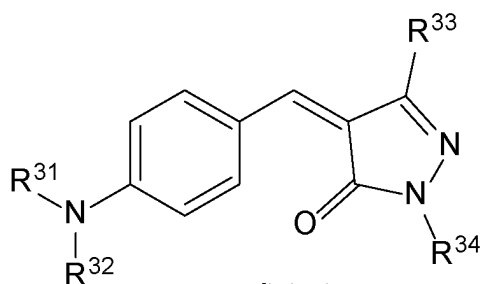
式(2)

10

[ 式 ( 2 ) 中、

R<sup>21</sup> 及び R<sup>22</sup> は、アルキル基を表し、A は、-SO<sub>2</sub>N(R<sup>23</sup>)R<sup>24</sup>、-CON(R<sup>23</sup>)R<sup>24</sup> または -COOR<sup>23</sup> を表し、R<sup>23</sup> 及び R<sup>24</sup> は、それぞれ独立して、水素原子またはアルキル基を表す。 ]

## 【化 3】



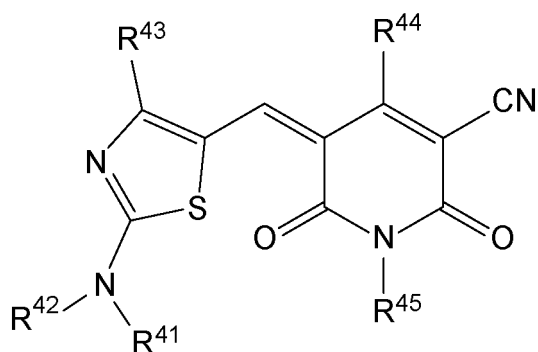
式(3)

20

[ 式 ( 3 ) 中、

R<sup>31</sup> 及び R<sup>32</sup> は、それぞれ独立して、アルキル基を表し、R<sup>33</sup> は、アルキル基、アリール基またはアルコキシ基を表し、R<sup>34</sup> は、アルキル基またはアリール基を表す。 ]

## 【化 4】



式(4)

40

[ 式 ( 4 ) 中、

R<sup>41</sup> 及び R<sup>42</sup> は、アルキル基を表し、R<sup>43</sup> は、水素原子、アルキル基、無置換のアリール基または置換基を有するアリール基を表し、R<sup>44</sup> は、アルキル基、無置換のアリール基または置換基を有するアリール基を表し、R<sup>45</sup> は、水素原子、アルキル基、無置換のアリール基、置換基を有するアリール基または -N(-R<sup>46</sup>)R<sup>47</sup> を表し、R<sup>46</sup> 及び R<sup>47</sup> は、以下の ( i ) または ( i i ) の規定を満たす。( i ) R<sup>46</sup> 及び R<sup>47</sup> は、それぞれ独立して、水素原子、アルキル基またはアシル

50

基を表す。

( i i )  $R^{46}$  と  $R^{47}$  とが互いに結合して環を形成し、 $R^{46}$  と  $R^{47}$  は環を形成するために必要な原子団を表す。]

【請求項 2】

該色材層中における

該式 ( 1 ) で表される化合物の含有量と、

該式 ( 2 ) で表される化合物、該式 ( 3 ) で表される化合物及び該式 ( 4 ) で表される化合物からなる群から選択されるいずれか 1 の化合物の含有量とが、

質量基準において以下の関係を満たす、請求項 1 に記載の感熱転写記録用シート。

該式 ( 1 ) で表される化合物の含有量 / ( 該式 ( 2 ) で表される化合物、該式 ( 3 ) で表される化合物及び該式 ( 4 ) で表される化合物からなる群から選択されるいずれか 1 の化合物の含有量 ) = 1 ~ 2

10

【請求項 3】

該色材層が結着樹脂を含有しており、

該式 ( 1 ) で表される化合物の含有量が、該結着樹脂 100 質量部に対して、1 質量部以上 40 質量部以下である、請求項 1 または 2 に記載の感熱転写記録用シート。

【請求項 4】

該色材層が結着樹脂を含有しており、

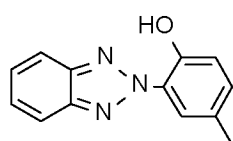
該式 ( 2 ) で表される化合物、該式 ( 3 ) で表される化合物及び該式 ( 4 ) で表される化合物からなる群から選択されるいずれか 1 の化合物の含有量が、該結着樹脂 100 質量部に対して、1 質量部以上 20 質量部以下である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の感熱転写記録用シート。

20

【請求項 5】

該色材層が、下記化合物 ( 1 - 3 ) と、下記化合物 ( 2 - 21 )、下記化合物 ( 2 - 24 )、下記化合物 ( 3 - 2 )、下記化合物 ( 3 - 5 )、下記化合物 ( 4 - 16 ) 及び下記化合物 ( 4 - 20 ) からなる群より選択されるいずれかの化合物とを含有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の感熱転写記録用シート。

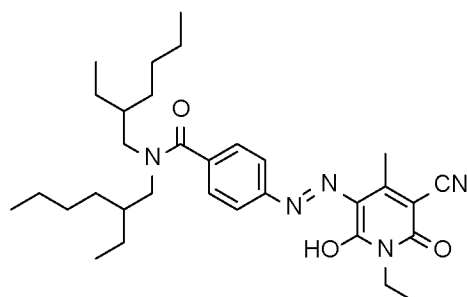
【化 5】



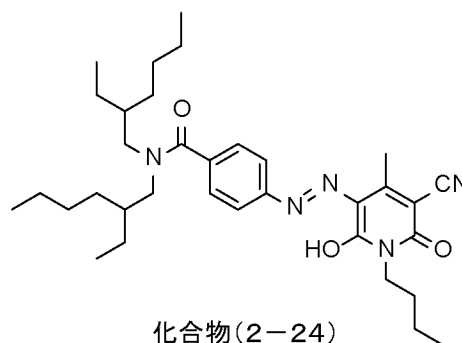
化合物(1-3)

30

【化 6】



化合物(2-21)

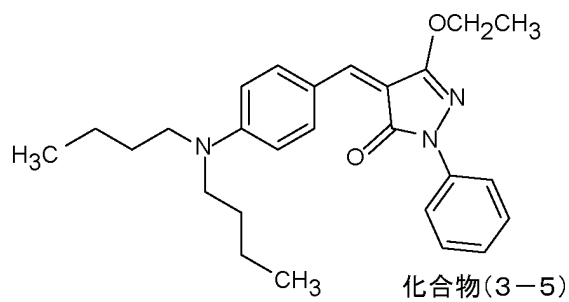
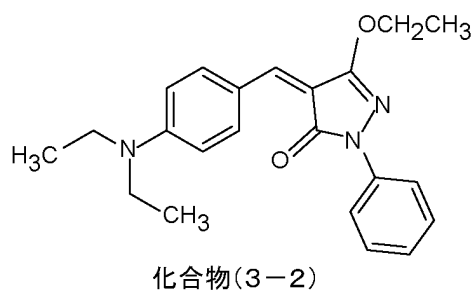


化合物(2-24)

40

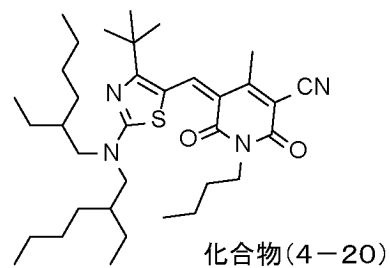
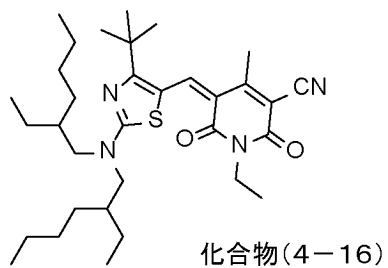
50

## 【化 7】



10

## 【化 8】



20

30

40

50